

すべての質問において、肯定率 60%未満の回答はなく、生徒・保護者・教員の肯定率平均はすべて 80%を超えている。() は昨年度の肯定率。

【生徒】

肯定率平均 88.8% (87.4%) 「学校へ行くのが楽しい」78.8% (72.7%) の質問以外は肯定率 80%を超えている。特に「授業はわかりやすい」「授業中は学習できる雰囲気 が保たれている」「学校生活についての先生の指導は納得できる」「将来の進路を考え、一般常識を学ぶ機会がある」「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」については 90%を超えており、非常に高い肯定率である。

【保護者】

肯定率平均 83.3% (87.2%) 「学校は、子どもに『生命を大切に する心』や『社会のルールを守る態度』を育てようとしている」「学校の生徒指導の方針に共感できる」「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば、真剣に対応してくれる」「学校は、保護者からの相談に、適切に応じてくれる」「この学校の授業参観や学校行事に参加した事がある」については 90%を超えており、非常に高い肯定率である。しかしながら「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」の肯定率は 61.5% (70.8%) とやや低く、生徒の回答「学校へ行くのが楽しい」78.8%と差がある。生徒の学校での様子や満足度などを 情報提供する方法について検討が必要である。

【教員】

肯定率平均 82.6% (75.4%) 「この学校では、SC、SSW と連携をとり、生徒に寄り添いながら生徒指導を行っている」「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談する事ができる」「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、行事後にアンケートを取り、工夫・改善を行っている」「教育活動に必要な情報について、ホームページ等を活用し、生徒・保護者や地域への周知に努めている」「体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている」「学校運営に教職員の意見が反映されている」については 90%を超えており、非常に高い肯定率である。しかしながら「人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている」「校内研修が教育実践に役立つよう、計画的に実施されている」「初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている」の3項目についてはいずれも 64.7% と若干低い肯定率となっている。教員が互いに情報共有しやすい仕組み作りが必要と思われる。

【肯定的回答率が昨年度と比べて特に（20%以上）上昇した項目】

〔保護者〕 「この学校の授業参観や学校行事に参加した事がある」91.7% (64.0%)

〔教員〕 「生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、キャリア教育ときめ細かい指導を行っている」88.2% (64.7%) 「学校運営に准校長のリーダーシップが発揮されている」82.4% (23.5%) 「学校運営に教職員の意見が反映されている」94.1% (47.1%) 「教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある」82.4% (58.8%) 「初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている」64.7% (41.2%) 全体を通して教員の肯定率が平均 7%ほど上昇して 20%以上上昇した項目も多く、改善が見られた。